

年頭のご挨拶

理事長 信岡正郎



組合員の皆様新年明けましておめでとうございます。
お健やかに平成18年の新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
昨年中に賜りました当組合へのご支援・ご協力に対しまして衷心より厚く
お礼申し上げますとともに、なお本年も倍旧のご協力を賜りますようよろしく
お願い申し上げます。

特に昨年は、組合の運営上大幅な賦課金の値上げを提案せざるを得なくなりましたが、皆様方の深いご理解とご協力によりまして、滞りなく納入して頂き心より感謝申し上げる次第です。

さて、私なりに昨年を振り返って見ますと、我が国経済がいわゆるバブル崩壊後の長期にわたり続いた困難な時代からの脱出に向かってそれぞれの企業が身を削る思いで改革を断行し、そしてその中から多くの企業が立ち直り、今日に至っては過去最高の業績を達成される企業も多く見られるようになったと同時に総じて順調な景気回復の道をたどった一年であったように思っております。

しかしながら、当産地の多くの企業が実用衣料が中心という事情もあり残念ながら一部の企業を除き、万年不況という流れから脱出したとは言いきれず、世間の景気回復の流れから取り残され、さみしい思いでの越年を覚悟し危惧致しておりました。ところが、昨年11月中旬から例年になく早く又厳しい寒波が訪れまして、冬物衣料を中心に大変な売れ行きが続き、当産地の防寒衣料の在庫も底をつくという状況で、久しぶりに明るい話題で新しい年を迎えることが出来たと同時に昔から衣料品の世界は、水商売のようなもので天候次第とよく言われており、今回の寒波は豪雪地帯の皆様方にとりましては大変お気な毒とは存じますが、我々業界にとりましては、正に神風のごときのものであったと思われまます。

年も明け、早い春・暑い夏を期待するわけでございますが、我々も自然の恩恵のみで企業経営は出来ず、クールビズ・ウォームビズあるいは冬物衣料の順調な売れ行きなど折角の明るい話題や世間の順調な景気回復というフォローの風が吹き出した今こそ、巻き返しの絶好のチャンスであり、組合員の皆様におかれましては積極的な施策を展開されるべき時と思っております。

新しい分野への進出、独自の商品開発等やるべき事、進むべき道はあろうかと存じますが、過去の習慣や経験の繰り返しだけにとどまらず、時代の新しい風の流れをしっかりと受け止められてそれぞれの身丈に合った新しいビジネスモデルの構築に向かって切磋・琢磨されることが肝要ではないでしょうか。

又、特に当産地は、ワーキングウェアにおいては、全国的にも圧倒的なシェアを持っておりますと同時に業界を代表する企業も多く存在する産地です。ここ1～2年国内景気の回復基調に乗り、徐々に明るさを取り戻しておりましたが、今日に至って多くのコストアップ要因が再び不安材料になってきております。原油の高止まりによる原材料高、中国の元の切り上げ、加工賃の高騰、為替の円安傾向など多くの課題が山積しております。

こうした背景を目の前にして、業界を代表され、リード役を務めるべき大手の会社がどのような施策を打ち出されるのかが一大関心事であります。

そして、来週の初めから一斉に始まります三備フェアを皮切りにそれぞれの会社の方針が打ち出され、明らかになって来るとは思いますが、大手の会社にとっては名実共に実力の備わってきております今日、その会社が打ち出す施策は、正に商いの王道を行くものであつてほしいと強く期待するものです。

更に、多くの業界で景気の回復と共にデフレからの脱却が進んでおります今日、我々アパレル業界も供給過剰からくるデフレの問題や課題や価格の底上げへの努力等々、今やお互いに協調し、諸問題の解決のため真剣に取り組むべき時であり、今日に至ってはこうした課題も受け入れる側のマーケットの環境が容認しやすい条件に整いつつあるのではないのでしょうか。

当組合といたしましてもこの一年、関係する業界の皆様とお互いの立場を理解しながら公平であるべき解決策を見出すためにその先頭にたって努力したいと存じます。

一方、国の財政が悪化する中で、企業には自助努力が一層求められる状況のもと、組合活動も大きな変革の時代を迎えております。組合員皆様方からの忌憚のないご意見やニーズをしっかりと把握しながら、行政機関や民間団体等との連携を強化して、様々な情報の収集に努めると共に業界活性化のため更なる努力を傾注する所存でございます。

最後になりましたが、組合員皆様方のご健勝とご活躍そして御社の益々のご発展をご祈念申し上げますと共に、当組合に対しまして旧に倍するご支援・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます、年頭に当たってのご挨拶といたします。

(新年互礼会挨拶から引用)

平成18年新年互礼会開催



《挨拶される信岡理事長》

恒例の新年互礼会が、1月10日(火)午後4時より当組合会館3階大会議室において開催されました。

今回の新年互礼会も昨年と同様、監督官庁の中国経産局地域経済課三好課長様や平県議会副議長様をはじめとした来賓の方々や素材メーカーや商社及び服飾資材関係の業者の方もお招きして開催しました。

互礼会は、まず佐藤専務理事の司会で始まり、信岡理事長が大勢の参加者に対して平成18年の年頭の挨拶を述べられました。

次いで、来賓を代表して中国経済産業局奥村局長の代理である地域経済課の三好 豊課長様及び広島県議会副議長の平 浩介様からご懇篤なご挨拶を頂戴した後、商工中金福山支店の酒井 正則支店長様の乾杯の音頭のご発声で乾杯し、懇親会に入りました。

当日は、立錫の余地がないほど多くの参会者であふれ、終始にこやかに新年の賀詞が交換され、最後に山名 作太副理事長の中じめの挨拶があった後、盛会裡に終了しました。なお、参加者は、総勢約170名でした。

《互礼会懇親風景》



平県議会副議長

